

教育委員会定例会会議録

開催日時	平成31年 1月 9日 (水) 午前9時00分
開催場所	リパリス1階会議室
出席委員等	委員 鳴海 良廣                      委員 柄本奈津美
	委員 牛田 裕子                      委員 金永 俊一
	教育長 中竹 聖子
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 西田誠司    補佐 小嶋一洋 社会教育係長 白岩修    給食センター係長 渡邊千里

・教育委員会定例会の開催

会の冒頭、半渡英俊町長より年始のあいさつ（あいさつ終了後退席）

議長選出：中竹教育長に議長をお願いしました。

議題及び議事

- ・(1) 1月期定例会会議録署名委員の指名（中竹教育長・牛田委員）
- ・(2) 12月期定例会会議録及び12月臨時会会議録の承認について  
（中竹教育長・柄本委員）

事前に送付していた12月期定例会会議録及び12月臨時会会議録について、承認され、兩名において署名

- ・(3) 事務局報告

① 教育長報告

- ・12月 1日（土）木城小学校学習発表会（小学校講堂）

音楽専科の教師が、2年生から6年生を対象として、昼休み等利用しての合唱指導を行っており、その発表もありました。とても素晴らしい発表会でした。中学校になると対外的な合唱コンクールもありますので、小学校での経験が生かされるといいなと思っています。

- ・12月 5日（水）～7日（金）木城中学校修学旅行（沖縄県）

うるま市との交流もありまして、1泊は民泊を実施して2年目となります。生徒にとっても貴重な体験ができたと思います。来年度についても行先は同じなのですが、時期を6月に実施予定で検討中です。

- ・12月 7日（金）～13日（木）12月定例議会（議場他）

教育課に係る一般質問はありませんでしたが、産業文教常任委員会

において、義務教育学校制度導入について説明をしました。11月に産業文教常任委員会も佐賀県の義務教育学校を視察しており、様々な協議を行いました。また、決定事項等は、議会及び保護者並びに町民に対し、公表していくようにしたいと考えています。

- ・ 12月12日(水)～13日(木) 地域婦人連絡協議会九州大会(宮崎市)  
木城町婦人連絡協議会の会長である甲斐恵子さんが、木城町婦人連絡協議会の取り組みとボランティア団体の活動について発表を行いました。会場からは、有償ボランティア団体「木城・逢・愛・合」の活動について多数の質問があり、詳細に説明をしていました。会場からは、地道に行っている有償活動について、高い評価を受けていました。
- ・ 12月15日(土) 市町村対抗駅伝壮行会(総合運動場)  
1月14日(月)に開催されます市町村対抗駅伝大会の壮行会を開催しました。高校生区間と40代区間の人集めに苦慮していますが今回も2チームエントリーしますので、活躍を期待しています。
- ・ 12月22日(土) 第61回児湯郡町村駅伝大会(高鍋町)  
市町村対抗駅伝のプレ大会として参加しました。中学生2名が区間賞をとる力走でした。

#### 中竹教育長

- ・ 12月の行事報告でその他ないでしょうか。

#### 課長

- ・ 12月19日(水) 義務教育の推進を図る協議会課長会(宮崎市)  
中学校の運動部活動方針について説明がありましたので、後で別紙資料により説明します。
- ・ 12月27日(木) 第2回校舎建設整備検討委員会(2階会議室)  
2023年に「施設一体型の義務教育学校」を開校します。その校舎建設に係る検討を行い、平成31年度に基本設計を行うための協議となります。

#### 白岩係長

- ・ 12月8日(土) 中之又神社大祭(中之又神社)  
本年度は、夕方から早朝にかけての夜神楽の奉納がありました。後継者問題に直面していますが、町としては、神楽で使用する備品等の整備支援を行っていきたいと考えています。米良山神楽として国の指定を受けるように取り組んでいるところです。
- ・ 12月23日(日)～24日(月) 木城町子どもスキー体験と農家民泊体験

(五ヶ瀬町)

今回は、冬休み前半に実施し、小学校5、6年生  
23名が参加し、スキー体験と農家民泊体験を行  
いました。

中竹教育長

・続きまして、課長から行事予定について説明をお願いします。

② 行事予定 (課長説明)

1月行事予定)・・・主なものだけ説明

- ・1月 1日 (火) 平成31年木城町成人式 (リパリスホール)  
中学卒業時1クラスの学年で、対象者が少ない学年ではありますが、  
36名の出席で厳かに開催することができました。
- ・1月13日 (日) 市町村対抗駅伝競走大会開会式 (宮崎市)
- ・1月14日 (月) 市町村対抗駅伝競走大会 (宮崎市)  
2チームエントリーしていますので、応援をお願いします。
- ・1月27日 (日) 第47回木城町新春ジョギング大会 (総合運動場他)

中竹教育長

・行事報告、行事予定で何か質疑等ないでしょうか。

柄本委員

・成人式の対象者について、どのような捉え方をしているのでしょうか。

白岩係長

・20歳到来者で、一時でも木城町に住民票を置いた方については、出席の案内をして  
いますので、対象人数は増えてきます。ただし、中学卒業時の人数からみますと約9割  
の出席率となります。

柄本委員

・小学校時代一緒に学び、中学から私立中学校等に行った人に対して、成人式の案内が  
きて、とてもうれしい気持ちで参加したという話も聞きました。

小嶋補佐

・宮崎市内などは、中学校の校区ごとに開催するので、中学から私立中学校に行く人  
に対しては、今の案内方法の方がいいと思います。出席するかどうかは本人が判断するこ  
となので。

金永委員

・町長のあいさつの中で、公民館活動が停滞しているという話がありましたが。

教育長

・公民館加入率は、約80%となっています。やはり、共助という面からも100%にしたいという理想は持っています。

**白岩係長**

・公民館加入率の問題もありますが、地区内で実施している行事や役員等のなり手不足の問題もあります。

**金永委員**

・地区内活動の活性化が課題なのでしょうか。

**白岩係長**

・町長が提唱しました役場職員を地域に張り付ける地域担当制度を導入して、3年が経とうとしています。役場職員が地区に飛び出して地区内の活動等をお手伝いするものです。制度導入後、職員の活動が即地区内の活性化、諸問題の解決につながっているということではありません。

**課長**

・公民館活動につきましては、本年度、各公民館長に集まってもらいまして、各地区で抱えている諸問題等を出してもらってグループ毎に議論をしました。その中では、高齢化等による役員のなり手不足問題、若い世代等の公民活動への参加問題など様々な問題があり、全体で共有したところです。大規模災害等を考えたときには、地区内での助け合いである共助を積極的に行うためにも、公民館活動というのは重要と考えています。しかし、現代社会の構造をみたときに、ライフスタイル等は変わってきています。地区内で守っていかなければならないこともあります。ニューモデルとしての公民館活動も必要ではないかと考えています。公民館活動の活性化は、住民が自ら考え、行動し、行政がバックアップしていくということが大事だと考えています。その取り組みの一環として、地域担当制度を導入していますが、この問題を解決する特効薬的なものはないので、地道に行っていくことが大切だと考えています。

**金永委員**

・地域担当職員につきましては、地区との橋渡しをしてもらい、その時々でアドバイスを頂けたらと思っています。地区の行事等についても、地区住民の中で協議をしたうえで決定し、新しいスタイルでの公民館活動が必要だと思います。

**小嶋補佐**

・山間部で抱えている高齢化による草刈りができないなどの問題については、公助が必要であり、中心部では、転入や若い世帯との公民館活動における意識のずれが問題だと思います。この地域担当制度により役場職員が行事等の手伝いを行うときに、高齢化等により、物理的にできないものであればいいのですが、手伝うことにより、地区内が地域担当職員に任せておけばいいという意識になると、逆に地域の衰退につながる恐れがあると思います。

**中竹教育長**

・公民館活動の活性化は、大切なことなので今後も引き続き協議していくとともに、地域担当職員制度を活用していきたいと思います。

#### (4) 協議事項

##### 中竹教育長

・それでは、協議事項に入ります。第1号議案「平成31年度当初予算について」事務局の説明をお願いします。

##### 課長

・平成31年度は、首長選挙が4月に実施されるため、骨格予算となります。資料により、平成31年度当初予算（教育課計上分）の主な事業、新規事業等の説明を行い、質疑を行った。

##### 中竹教育長

・予算につきましては、承認いただけますか。

##### 委員全員

・異議なし。

##### 中竹教育長

・説明したとおり、来年度は、骨格予算となるため町長査定において、変更等があるかもしれませんが、その時は改めて説明したいと思います。

次に「木城中学校における運動部活動の方針」につきまして、事務局の説明をお願いします。

##### 課長

・国が教職員の働き方改革と生徒の部活動における疲労感の解消等を踏まえて、中学校における運動部活動の方針につきまして、ガイドラインを策定しました。地方教育委員会は、そのガイドラインをもとに部活動方針を定める必要があります。今回、木城町教育委員会として、木城町立中学校における運動部活動の方針を策定しましたので説明します。基本的には、国の定めるガイドラインに沿った形で策定していますが、適切な休養日等の設定について説明します。中体連の申し合わせで本年度から実施しているのですが、以下のことをガイドラインとして明文化しました。

##### 【休養日】

1 学期中、週当たり2日以上休養日を設ける。(平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日(以下週末という。)は少なくとも1日以上を休養日とする。第3日曜日は「家庭の日」の趣旨を踏まえ、原則として部活動を実施しないこととする。週末及び家庭の日に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替る。)

2 長期休業中の休養日設定についても、学期中に準じた取り扱いを行う。また、生徒

が十分な休養を取ることができるとともに、運動部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期休暇の休養期間（オフシーズン）を設ける。

【活動期間】

1 1日の活動時間は、長くとも学期中の平日は2時間程度、学校の休業日（学期中の週末を含む）は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。というものです。了承を得ましたら、今回の方針を踏まえて、中学校に対して中学校としての部活動の方針を定めるよう指導を行います。

中竹教育長

・説明が終わりました。質疑があればお願いします。

委員全員

・なし

中竹教育長

・それでは、木城町立中学校における部活動の方針については、この方針で決定してよろしいでしょうか。

委員全員

・異議なし

(5) 意見交換

中竹教育長

・続きまして、意見交換を行います。何かございますか。

鳴海委員

・国も含めて、子どもの貧困対策が議論となっていますが。

課長

・子どもの貧困問題は、家庭、家族の経済的な貧困問題からくるケースもあると思います。貧困といっても、子どもの心の貧困と経済的な貧困があると思います。

柄本委員

・負の連鎖を断ち切るということ言えば、子どもに対して直接の貧困対策をする必要があるのかもしれないですね。

中竹教育長

・他に何かございますか。

委員全員

・なし

中竹教育長

・以上で意見交換を終わります。

(6) 次回定例会日程

2月 8日(金) 9時00分から リバリス1階会議室

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教育長

中竹 聖子

委員

牛田 裕子